



森と湖に親しむ旬間 プレイベント

7月2日(金)、3日(土)

7月2日(金)と3日(土)の二日間にわたり、盛岡市の中津川河川敷と「プラザおでっ」を会場に、いわての森・川・海条例制定記念「森と湖に親しむ旬間」プレイベントが開催されました。

このイベントは、同条例の施行を機に、河川を軸とした上下流域の相互理解の推進と、県内企業等による環境や新技術への取り組みを紹介することにより、安全で楽しい水辺や森林の利用促進について理解を深めてもらうために企画されたもの。

当日は、1500人を超す方々が会場を訪れ、サラリーマン転覆隊の本田氏の爆笑河川トークや、展示ブースで紹介されていた資源循環の取組みや川の上下流連携の取組みを見学した。



豪華客船「飛鳥」入港

7月21日(水)

7月21日、大船渡港の野々田埠頭に、日本最大級の豪華客船「飛鳥」(郵船クルーズ、28,856トン)が入港しました。飛鳥は、穏やかな湾内をその巨体を滑らせるように航行。まさに浮かぶホテルのような威容でした。大勢の市民が、郷土芸能などで歓迎。首都圏などからの乗客約530人は市内観光や平泉や遠野などへのバスツアーを楽しみました。

大船渡港への寄港は、13年連続の17回目となりました。これだけの寄港は全国でも珍しく、飛鳥と大船渡港と縁の深さを物語っています。

岩手県への今年度の豪華客船の寄港は、このほかに「ぱしふいっくびいなす」(びいなすクルーズ、26,518トン)が、大船渡港と久慈港に寄港する予定となっています。



平成16年度両磐地区合同水防演習を実施

7月25日(日)

7月25日(日)に一関市総合体育館(ユードーム)西側において、両磐地区合同水防演習を行いました。これは、出水期をむかえ水防体制の充実強化を図るとともに、水防意識を高め水防団員の技術を強化するため、北上川流域の関係機関が合同し、毎年行っているもの。

当日は両磐地区の水防団関係者約570名、ボランティア参加の高校生約70名、地域の自主防災組織約100名、一般見学者約150名が参加。

会場では、両磐地区の水防団による水防工法実演やポンプ車による排水訓練、応急橋架訓練のほか、高校生と水防団が協同して積み土のう工法の演習が行われました。



河川愛護団体感謝状贈呈式

7月29日(木)

7月29日(木)にホテル東日本において、河川愛護団体等感謝状贈呈式が開催されました。これは、県が管理する一級河川と二級河川について、地域における河川環境の美化保全活動や河川愛護活動の一役を担っている個人や団体を表彰するもの。

当日は、12年間滝名川河川敷や堤防の草刈を行ってきた阿部喜六さん(紫波町)、14年間仲居川堤防の草刈を行ってきた松里昇さん(大迫町)、13年間馬淵川河川敷の草刈を行ってきた晴山町内会(二戸市)が橋本部長から感謝状の贈呈を受けました。